

田人地区 地域おこし協力隊

8月号

ちーの山暮らし物語



風のない夏に、汗がポタポタと土地に落ちています。草に負けないよう沢山の愛情を野菜に降り注ぎ、エンドウ豆の家を作りました。

五月に種をまいたエンドウ豆は、あっという間に空に伸びています。つるが空高く伸びるよう、支柱を立ててネットを張り始めたところで、いつもお世話になっているYさんから「一人でやると大変だつぽよ。」と声をかけられました。

それで、横方向の支柱を作る為に、近くにある竹林で竹を切り下ろしてくれました。そして、Yさんの指導をもらいながら、支柱を立てて、きゅうり用ネットを張って固定しました。固定するには麻ひもを使い、Yさんが教えてくれた「とっくり結び」で結びました。

「とっくり結び」は、果樹の支柱固定、玉葱の干し掛けなど、何でも使える万能な結び方です。結び方を忘れないように、Yさんに隣にいてもいい、私は何度も練習しました。おかげで出来るようになりました!! 色々と助けてくれてありがとうございます。

豌豆のネット張り

協力隊

8月号

いよいよ定植したキャベツの収穫を迎えました。化学物質を使わないので、マルチを張ったトンネルの中で、草と共に成長し育ててきました。初収穫のキャベツは、地域や畑のことでいつもお世話になっている皆さんに感謝の気持ちを含めて食べてもらいました。

そして、キャベツ苗をもらったYさんから後日Yさんの育てたキャベツをいただきました。食べ比べてみたら、自分のキャベツは硬く甘味が強くありませんでしたが、Yさんのキャベツは柔らかくて甘味が強くて美味しかったです。それは自分の畑の養分、特に窒素が少なかったためです。キャベツの甘味を増やす為に、油かすを畑に入れたとYさんが教えてくれました。キャベツの栽培の勉強になりました。ありがとうございます。

また、Yさんから秋作のキャベツ苗十二株をいただきました。今回は食感がやや硬めのキャベツです。甘味のあるキャベツを作る為に植え付ける前に、米ぬかを土に入れて耕耘しました。時期的に霜の影響を受けないので、マルチを張らないで防虫ネットのトンネルを設置しました。

最近気温が高く、日差しが強いので、キャベツ五株がだめになってしまいました。収穫まで、お日様と相談しながら、キャベツ子たちと一緒に頑張ります!

キャベツの収穫



謎のコーナー
知りたかったら
田人へ
おいでちょ!

今の時期、畑仕事をする皆さんは草と戦っているのでしょうね。お疲れ様です。今回は、川前地区の地域見学と協力隊OBのSさんの大麦畑の勉強に行ってきました。

その日は、三十五度を超えた外気温で大麦畑の畝間除草をしました。スギナがとても広がっているびっくりする程の畑でした。Sさん、川前地区の協力隊や集落支援員さん、三和地区の協力隊、支所の皆さんと一緒に大麦の株と株の間の草を鎌で抜き取りました。

同じいわき市でも、中山間地域の風土はそれぞれ違います。協力隊として着任し、地域でホップや大麦を育てて、醸造所を持つようになり、地ビールを作っているSさんの姿や、皆で地域のことをサポートする姿をみると人の温かさや土地を守る心は一緒だと感じました。

大麦畑の手除草

